

鳥海ダムだより

国土交通省 東北地方整備局 鳥海ダム工事事務所

第49号 2018.3.28発行

年度末のご挨拶

鳥海ダム工事事務所 事務副所長 瀬野 順司



厳しかったこの冬の寒さも緩み始め、春を思わせる風が心地良い季節となりました。

さて、平成29年度もあと残りわずかとなりました。振り返ってみますと、今年度は、用地調査や建物等調査、地質調査、環境調査、測量等の業務を中心に進めて参りましたが、用地調査関係におきましては、民地部分については概ね完了することができました。

また、これらと並行して、環境影響評価（評価書作成）や公募形式による水力発電事業者の特定手続きを行って参りました。水力発電事業者につきましては、複数者の応募がありましたが、審査の結果、秋田県を事業者として選定したところです。今後は、鳥海ダムの目的に「発電」が新たに加えられることとなります。

さらに、百宅地区の自然や行事、暮らしぶり、歴史、文化などを記録に残す目的で、県内の有識者で組織する「百宅地区の記録保存委員会」を立ち上げ、現地視察や地区の方々からの聞き取り調査などを行わせていただいたところです。

このように、この一年、様々な事業を展開して参りましたが、地権者の方々をはじめとして由利本荘市民の皆様や、秋田県、由利本荘市など関係機関の皆様からご協力を頂きながら順調に事業を進めることができたと感じております。本当にありがとうございました。

来年度は、「鳥海ダムの建設に関する基本計画」策定・告示や、地権者の皆様方への「補償基準の提示」といったダム建設において非常に大きな節目を迎える予定であり、本体工事着手に向け、事業が大きく前進する年度になるものと思っております。

年度初めには、新庁舎の完成～引っ越しも予定しており、職員一同、気持ちも新たに事業の推進に向け一丸となって取り組んで参りますので、引き続き、なお一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

第3回 百宅地区の記録保存委員会を開催しました!

～ これまでに実施した調査結果の報告や次年度の活動計画について議論 ～

平成30年3月9日(金)に、鳥海ダム工事事務所において「第3回 百宅地区の記録保存委員会」を開催しました。

今回行われた委員会の開催内容は、「これまでに実施した調査の報告」を行うとともに、「次年度の活動計画(案)」等について議論をしました。

委員会では、議題である「次年度の活動計画」等について委員からの了承が得られ、調査が最盛期となる平成30年度の調査計画が決まりました。

また、当日の午後から、現地視察として「茅葺き屋根の家屋」の視察や住民からの聞き取り調査として「百宅の思い出話を聞く会」を行いました。記録保存委員と百宅地区住民との直接的顔合わせにより、今後の調査が活発に行われることを期待しています。



▲第3回 百宅地区の記録保存委員会の開催状況



▲委員会開会の挨拶を行う長内事務所長



▲視察する茅葺き屋根の家屋の外観



▲家屋内の視察を行う委員の皆さん



▲昔の生活用具について説明する百宅地区住民



▲百宅の思い出話を聞く会において聞き取り調査を行う委員

編集後記

皆さん、今年度の「鳥海ダムだより」は、いかがだったでしょうか？
4月12日発行の「第32号」に始まり、今回発行の「第49号」で、年間18回の発行となります。
発行頻度としては、2ヶ月に3回の発行でしたので、いささか雑な内容の記事もあったかもしれません。
今後は、より一層良い紙面作りに心がけますので、平成30年度も引き続きよろしくお願いいたします。

安全・安心の子吉川に抱かれて、より豊かに暮らせる、わたしたちの郷土のために。

編集・発行 国土交通省東北地方整備局鳥海ダム工事事務所

〒015-0074 秋田県由利本荘市桜小路32-1

TEL. 0184-23-5120 FAX. 0184-23-5451

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>

e-mailアドレス thr-chokai01@mlit.go.jp